

### ◎米英に日ソ戦像想論しきり

ストックホルム廿日發同盟不發表最近「日ソ戦近し」或は「日ソ戦を希望する」といふ如き聲が聯合國特に米國內で盛に起つてゐるが之に關し元駐ソ米大使デーヴィスは最近デイリー・メール紙に一文を寄せ左の如く述べてゐる

日ソ中立條約が嚴存してゐるにも拘らず現在日ソ兩國は諸般の點でその對立を激化せしめつつあり兩國間には異常な緊張が漂つてゐる、この對立の一の證據はソ聯が依然として蔣行爲を續けてゐることである、將來兩國間に戦争が起る場合日本側が主動性をとり奇襲攻撃を行ふであらう、現在ソ聯軍の間では日本の攻撃をうけるまで拱手傍觀すべきか否かにつき大論争が行はれてゐるといはれる、而して日本の攻撃は獨軍の對ソ大攻勢と時期を同じくして行れるであらう、疑ひもなく日、獨兩國は出来るだけ早い機會に對ソ同時攻撃を開始しようとしてゐるのだ、

かくの如き米國內で行はれてゐる日ソ戦が聯合國側にこりいかに有利であるかといふことを確信せしめようとしてゐるものとみえる、之に對しロンドンの消息筋では

日ソ戦は米國に對し太平洋に於てこれまでのやうな餘りにも一方的に負擔させてゐた諸困難を擊滅することになるであらうが然し之は同時に歐露戦線に於て即ちコーカサス、西亞等でこれまで英ソ間で部分的共同防衛を行つて來たがこの「部分的共同防衛」が持つ疑はしい効果を更に弱め結局共同防衛を不可能ならしめる懼れがある、又過敏の英ソ條約、米ソ協定に見られた米國の慎重さは一部、ソ聯の對日態度が諸協定文中に明かにされてゐないといふ事實に基くものだと見てゐる

### ◎ソ聯最高會議に英ソ條約のみ批准

タスシモスクワ十九日發同盟日昨十八日夕ソ聯邦最高會議がクレムリンに於て開催されたスターリン其他の首腦が出席し英ソ軍事同盟條約批准の議事が進められた、モロトフ外務人民委員より英ソ條約問題に關する詳細な報告がなされたが之に對してはしばし喝采が鳴りもやまずソ聯政府の外交政策を承認し民主主義諸國のヒットラー・ドイツに對抗する戰闘的同盟の勝利を確信する氣分が満ち溢れてゐた、右モロトフの報告後英ソ條約の審議が始つた各地方代表が交々立つて質問した後個別投票に附せられソ聯邦最高會議は英ソ條約を可決した、なほこの日の批准は専ら英ソ條約だけに限られ米ソ協定は批准されてゐない